

第5号

2024年
04月15日法人事業部 営業チーム1
入江 陽介環境変化での
気疲れを防ぐ

ダイヤル・サービスでは、相談・通報電話を受けている現役の相談員が講師となり、実際に体験した様々なケースの紹介を交えた研修を行っています。

私も営業としてハラスメントやメンタルケアの研修に同行することがあり、その際に講師の相談員が「ストレスは川の流れと同じで高いほうから低いほうへ流れていきます」と講義をしていました。また、普段のやり取りのなかで「立場の強い人は立場の弱い人にストレスをぶつけ、立場の弱い人は、ストレスの行き先がないからカウンセラーや相談員にぶつけてくる。やり場のないストレスを聴くのも我々の仕事なんですよ」と教えてくれました。

新年度を迎え、新しい組織や環境によって少しずつ溜まったストレスは、川の流れのように、職位の高い人から低い人へと流れていきます。職位の低い人は、それによって体調不良やメンタル不調になる可能性もあります。何かと気を使う現代においては、自分自身で心の調子を整えるセルフケアが必要不可欠なのかもしれません。



新年度からはや2週間

従業員の
ストレスの
行く先を
考えて
みませんか組織の
カナリアEAP・ハラスメントチーム
チーム長
鈴木 里枝

皆様は「炭鉱のカナリア」をご存知でしょうか。カナリアは、空気の変化に敏感なことから、昔は毒ガス感知のために炭鉱に持ち込まれました。有害なガスを察知すると鳴き声が小さくなり、最後はさえずらなくなります。

組織もカナリアと同じです。人も組織も、負担がかかる弱いところでアラームが鳴り始めます。職場で出る不調者、小さな不満の声。それは、組織が歪んでいるというアラームです。それを「たいしたことない」と放っておくと、声が出なくなります。

小さな不満や不調者の存在が、組織としての改善点を教えてくれることがあります。不調者を出さないことも大切ですが、不調者が出た時にどう対応をしていくかはもっと大切です。

高いほうから低いほうへと流れ着き、行く先の無いストレスや小さな声を聴き洩らさないために、弊社のような外部相談窓口があると考えています。相談窓口を通じて小さな声が届いたときは、セルフケア・ラインケアを今一度見直してみる機会ではないでしょうか。研修など、ぜひご検討ください。



SERVICE

サービスの
ご紹介

INFORMATION

ハラスメント担当者養成講座

内部通報の外部受付窓口、ハラスメント相談のパイオニアであるダイヤル・サービスが、20年以上相談や通報を受け付けているノウハウを生かし、これからハラスメント対策に携わる担当者の皆様に、相談からの一連の流れを習得いただく講座を提供いたします。

日時：2024年5月24日（金） 9:30～17:00

受講対象者：ハラスメント対策担当者（実務経験3年以内の方）

参加方法：Zoomを使用したオンライン講座

受講形式：講義・個人ワーク・グループディスカッション・ロールプレイ

受講料金：おひとり様 30,800円

詳細・お申し込み：https://www.dsn.co.jp/seminar/240524/



LGBTQ+ 研修の販売を開始します

ダイヤル・サービスは、この度国内最大級のLGBTインタビューWEBメディア【LGBTER（エルジービーター）】を運営する株式会社ランドホーと連携協力し、企業向け『LGBTQ+ 研修』の提供を2024年より開始いたしました。

両社の強みを活かし、企業で働くLGBT当事者がより働きやすい社会となるため、従業員の意識の啓発・促進に向けた実践的なLGBT支援サービスを企業や団体に提供することで、「アライ（Ally）」になるためのサポート、多様性を尊重した社会の実現を目指します。

研修の詳細は営業担当までお尋ねください。